

Title	血脇守之助伝
Journal	, (): -394
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10130/917">http://hdl.handle.net/10130/917</a>
Right	

## 編集後記

昭和四十五年（一九七〇年）十一月八日、本学は創立八〇周年の記念式典を催した。血脇守之助先生の偉業を迎える企ては、すでにその数年前から調査会の形で非公式に行なわれていたが、この記念行事の一環として血脇守之助伝編纂が取りあげられてから以後は、公式の企画として本格的な作業が開始された。いうまでもなく、七十七年におよぶ偉人の面影をしのぶ資料を発掘することは容易なことではなかった。ある時は尋ねる宛もなく、訪れる先もなく、暗夜に道を行く思いであった。一口に人は百年の歴史の重みという、何処かに足跡が刻まれている筈だという。しかし調査は希望より幻滅に相遇することの方が多く、寸暇を借んで資料を蒐集しても、ほとんどは捨てられ、体系化されたものへとまとめあげて行くことは至難の業であった。またたとえ一字を探しあてたとしてもその信頼度を文献上調査するのに手まどることも少なくなかった。しかしながら、このような苦難の道を辿り、一枚ずつペールを剝がす思いで明らかにしていった結果、見出された事跡は、ところどころ不明の箇所をいまなお残しているとはいえ、血脇守之助先生を先頭とする創始者集団のまさに血のにじむ努力によって、歯学が、そして歯科界が生み出されていった苦闘のプロセスであり、創始者の感情、意思の輪が徐々に、そしてある時には急速に全国にあるいは世界に波及していった感動の記録であった。

当初、編集連絡会議がいたずらに回数を重ね、かつ暗い見通しの上で呻吟したのは無理からぬことであったが、多

数の方々のご支援を得てようやく、終結を迎えることになったのは、編纂関係者にとって無上の喜びである。

ここに改めて、ご協力をいただいた方々に感謝の意を表すると共に、前委員長故関根永滋先生および現委員長松宮誠一先生のご指導とご尽力に対し、敬意を表する次第である。

なお、編纂委員および関係者として巻頭および文中に記した方々の外に、本書編纂に関係して貴重な史料の提供、編集協力ないし参考意見を提示された方々のご氏名（順不同、敬称略）を記し、感謝の意を表する次第である。

竹内 光春

齋藤 利世

鈴木 和男

島根 久吉

近藤 三郎

小熊 勝夫

荒井 和夫

八百枝 茂

荒井 茂

八百枝 正一

榎本 起

八百枝 正樹

齊藤 安広

秋山 繁雄

今井孫四郎

小林 一夫

芦田 誠一

帆足木五郎

血脇 勝治

貝藤由紀子

石井 英朗

前村 満

岡島 信勝

中村 宏

（石川達也記）

## 血脇守之助傳

昭和五十四年二月二十四日發行〔非売品〕

編集者 血脇守之助傳編集委員会  
発行者 学校法人東京歯科大学  
印刷所 三報社印刷株式会社  
発行所 学校法人東京歯科大学  
東京都千代田区三崎町二十九十八  
TEL ○三一二六二一三四二一